

第55回人類働態学会全国大会のご案内

第55回人類働態学会全国大会は、COVID-19の世界的流行を受け、初めてのオンライン開催となりました。今大会では新しい生活様式の模索と定着が進むなかでの開催となります。私たちの生活や労働がこれまでとは異なる様式を受け入れながら変わりつつある時期です。本学会の運営方法もリモートでの会議を経ての開催となり、大会当日もリモートで運営されます。まさに、本会の運営が世界的に甚大な影響を及ぼした感染症によって生み出された環境との相互作用のなかでどのように変化するのが顕在化する場となります。そして、ウイズコロナ時代の幕開け、ポストコロナ時代を模索する時期に行われる今大会は会員の皆様にも記憶に残る大会となるでしょう。

今大会は今後の学会運営を考えるためのテストケースでもあり、学術的な知見を発展させる場とするとともに、ポストコロナ時代の生活・労働様式に関する洞察を得る場となることを期待しております。オンラインの強みを活かしながら活力ある場にしたいと思っておりますので、皆様のご参加を心待ちにしております。ウイズコロナ時代、ポストコロナ時代の本会の飛躍を見据えるためにも良い時間を共有しましょう。

【大会長】庄司 直人(朝日大学)
【期 日】令和2年10月31日(土)
【会 場】Zoom
【連絡先】第55回人類働態学会全国大会事務局
〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851
朝日大学 5号館2階(庄司研究室)
humanergology55@gmail.com

【実行委員】小野 圭久(鈴鹿大学)
岩浅 巧(労働安全衛生総合研究所)
本多 里也子(株式会社ビジネスコンサルタント)
福井 快智(朝日大学)
吉備 麻里子(朝日大学)

■基調講演

運動促進・安全行動等におけるオノマトペ刺激の利用とその可能性
藤野良孝(朝日大学 保健医療学部 健康スポーツ科学科 准教授)

■ワークショップ

「乗客働態からみた安全なバスの乗り方」

司会:松村秋芳

◆話題提供

1. 松村秋芳:乗客働態からみた安全なバスの乗り方の課題
2. 堀野定雄:停留所の安全について

◆グループワーク グループに分かれての討論

◆全体共有・まとめ

参加予定の皆様へ

<参加申込方法> **事前参加申込締切・・・10月4日(日)**

学会 HP(第 55 回人類働態学会全国大会)にある「参加申込み用紙」に必要事項を記入し、大会事務局までメールでお申し込みください。

<参加費>

	一般 (会員・非会員)	学生
大会参加費	3,000 円	1,000 円

<参加費のお支払い方法>

※参加費の支払いは①PayPal(ペイパル)、②PayPay(ペイペイ)、③年会費用振り込み口座へのお振込みの3つの方法をご用意しておりますが、大会のコンパクト化のためできるだけ

①PayPal→②PayPay→③お振込みの順でご検討ください。

発表者の皆様へ

<口頭発表について>

- ・口頭発表時間は 1 演題 14 分(発表 10 分, 質疑 3 分, 交代 1 分)です。
- ・発表は全てZoomでの口頭発表です。
- ・発表資料は発表者ご自身が画面共有することとします。
- ・発表資料を事前にお送りいただき大会事務局でサポートすることも可能です。その場合は10月28日(水)までに発表資料を大会事務局(humanergology55@gmail.com)までお送りください。

<質疑応答について>

- ①リアルタイムでの質疑の時間を3分間設けます。その他にもチャット機能を活用し質問やコメントをお寄せください。大会事務局で取りまとめ発表者へテキストにてフィードバックします。
- ②ご希望があれば研究に関する助言等に限りZoom上でブレイクアウトルームをご用意いたします。大会事務局へご相談ください。

<英文抄録について>

英文抄録原稿書式を HP からダウンロードし、大会当日までに英文抄録を作成してください。提出ファイルは大会当日までに大会事務局に E-mail でお送りください。本大会より英文校閲証明書の提出が必要です。